

◆TEKU・TEKU 2019★明治学院大学+港区郷土歴史館企画（活動記録）◆

企 画■歴史的建物の保存活用／白金台の明治学院キャンパスと旧国立公衆衛生院・ゆかしの杜を訪ねて

日 時■2019年11月2日（土）13:30～17:55

コース■明治学院大学白金キャンパス／歴史的建物（①記念館・資料展示、②礼拝堂・コンサート、③インブリー館・内部公開）～キャンパス計画（①ヘボン館・ヴォーリス広場、②パレットゾーン、③本館・図書館）～旧国立公衆衛生院（①港区郷土歴史館、②ゆかしの杜、③ミュージアムショップ・カフェ）

オプション企画◆南町田グランベリーパーク／鶴間公園まちのがっこう祭（11:00～12:30）

参加者■◎大竹 亮**、井手幸人**、栗原 徹、野中るみ子、橋本めぐみ**、濱本智子*、原 久子、藤井幹也、古里 実、堀川雅代*、村田英樹、脇野真澄（以上11名、**午前参加、*午前のみ参加、敬称略）

企画主旨■明治学院大学の白金キャンパスに残る歴史的建築である礼拝堂（ヴォーリス設計）、記念館、インブリー館が東京文化財ウィークに合わせて一般公開されます。当日はパイプオルガンのコンサートも開催され、学園祭の期間中ですので現代建築群（内井昭蔵設計）によるキャンパス内部も徘徊できます。また、近くにある旧国立公衆衛生院の建物（内田祥三設計）は保存され、港区郷土歴史館・ゆかしの杜として公開活用されています。大学や公共施設として上手く利用されている白金台の歴史的建物群を訪ね歩き、その価値を実感するとともに保存活用について考えてみましょう。

<参加者の意見・評価>

1◆明治学院大学・白金キャンパス（全体）

評価:4.00 内訳:AAAAABBBBB

評価A●歴史的建築物が新しい校舎と融合し、全体としてとても良い空間が生まれている。

評価A●ヴォーリス、内井昭蔵とすばらしい建築家が設計した建物に囲まれて勉強できるのは、羨ましい。

評価A●文化財が出迎えてくれるキャンパスは、その配置とともに都心の喧騒を忘れさせ、学生という身分が大切に守られている空間である。

評価A●歴史的建物群を保存活用しつつ、新しい建物群を有機的に整備している。正門から坂を上り、洋館の間を抜けて学棟ゾーンに至る構成も良い。内井昭蔵の新校舎群は、国道の喧騒を避けて広場を囲んだ親密な雰囲気であり、本館の図書館やパレットゾーンなど学生のための配慮が十分になされている。今回、大学職員の説明を聞いて、そうしたことを意識的に追求した結果だとわかり、その姿勢に感銘を受けた。

評価A●学生が勉学に励む上で何が大切かを考え、改良したキャンパス（「明治学院記念館」解説員談より）という点がすばらしいと思った。また、文化財に対する職員による解説からも職員の建物に対する誇りと愛情を感じた。明治学院大学の文化財群が、国道1号線の拡張工事のため、曳家で移動されたと聞き、当時も大切にされていたのだと感じた。

評価B●歴史的建造物があるなか、国道1号線の拡張計画に併せて、高層棟、低層棟、広場を上手に組みあせた居心地の良い空間設計を行っている。

評価B●国道に対して壁のような建物は、沿道から圧迫感がないよう工夫されているが、デザイン的にはまだ圧迫感があるのが残念。

評価B●正門から木造の文化財の空間はゆとりを確保した分、奥の建物群が密集しているんですね。

評価B●在京の大学がメインキャンパスを郊外に移すなかで、今も市街地に位置する明治学院大学ならではのキャンパス設計への工夫が見られた。教育の場として環境影響を考慮したキャンパス計画は魅力的。

評価B●キリスト教の宣教師による中庭型のレイアウトを引き継いだキャンパスは、囲われて居心地のいい空間を作っている。内井昭蔵による本館の外壁の十字のレンガ風のデザインも、ミッション系の雰囲気合っている。パレットゾーンのコミュニティスペースも開放的で居心地のいい空間になっていると思う。



明治学院大学キャンパスとヴォーリスの礼拝堂



明治学院礼拝堂でのパイプオルガン・コンサート

2◆明治学院礼拝堂（1916年、建物+コンサート）

評価:4.40 内訳:AAAAAABBBB

評価A●格調と落ち着きのある外観、意外に広く明るい内部空間など素晴らしい。教授の解説と学生の演奏によるパイプオルガンのコンサートは、空間と音楽が一体となって歴史伝統の真価を体現していた。

評価A●歴史的建造物をこれだけ日常の学校教育やイベントに活用しているのが素晴らしい。学生のパイプオルガンのコンサートも親しみやすく楽しめた。

評価A●（コンサート合間の司会）職員による解説、保存状態や現在の使用状況（礼拝、卒業生の結婚式）、また、パイプオルガン実技の履修が選抜メンバーに限られること等から、職員・学生の建物に対する誇りと愛情を感じた。音の響きが心地よく、素晴らしい演奏会だと思った。

評価A●ヴォーリスが結婚式を挙げた歴史ある建物でのコンサートは素敵でした。また、演奏者がパイプオルガン授業を受けている学生が弾くというのも良かった。

評価A●チャペルは心落ち着く空間。スタンドグラスの十字架は温かみがあり、横に広がった重厚なパイプオルガンは、優しい音色と力強い響きが素晴らしかった。

評価A●パイプオルガンの厚みのある音響は非常に素晴らしかった。

評価A●以前から見てみたかった建物です。建物と塔のバランスがいいですね。

評価B●イギリスのゴシック様式で、地味ながら歴史の重みを感じさせる。イギリスの田舎町に残っていそうな教会。パイプオルガンを、伝統的な工法でオランダ人に製作してもらったということは、パイプオルガンに相当な思い入れがあるのでしょうか。

評価B●パイプオルガンの説明がわかりやすく、親しみやすかった。

評価B●区指定文化財でありながら現在も教育の場として日々実用に使われていることに価値。保存建築として今後も本来の姿を維持し活用して欲しい。結婚式やコンサートなどにも精力的に使われていて活用度は高そう。

3◆明治学院記念館（1890年、建物+歴史展示）

評価:4.20 内訳:AAAAAABBBB

評価A●特徴的なデザインの建築はこの学院の象徴的存在となっている。

評価A●正門から良く見える象徴的建物。内部の展示解説が明治学院の歴史だけでなく、キャンパス計画の変遷も見事にジオラマ表現していたのに驚いた。建築・空間と理念・思想は一体不可分のものだと再認識した。

評価A●資料館として常設展示もジオラマ模型などもあってわかりやすい。建物は正門からのランドマークにもなっている。

評価A●活用されているのが良いことと、展示内容が大学の歴史がわかり愛校心が育ち、良いと思う。また歴史だけではなく学校の敷地のレイアウトの変遷などがわかる展示は珍しく、良い展示と思った

評価A●キャンパスの変遷がわかる模型とそれに対する解説はわかりやすく、また大変興味深い内容だった。十角形（？）の礼拝堂が珍しく、面白いと思った。

評価A●赤レンガと木造のバランスがとてもきれい。リードオルガンの演奏を聴くことができなかったことは残念だったが、学校関係者による愛校心溢れる学院の建築物の変遷の話はとても良かった。

評価B●区指定文化財でありながら現在も展示館として実用的に使われていることに価値。学芸員？の方の熱意あふれる説明を聞かせていただき、色々と参考になりました。

評価B●東京文化財ウィークと大学祭の時期に合わせて建物が公開されるというのが、とても良い。少子化時代の昨今、多くの人に大学をアピールすることは重要です。

評価B●煉瓦造の1階部と上部の木造の構成が素敵ですね。

評価B●正門から真正面に建つ、明治学院を象徴する建築物。建設当初のネオゴシックの様式から、震災後2階をティンバー様式に変えたり、国道の拡幅で曳家したりと姿を変え、様式もプロポーションも微妙に崩れていますが、いまなお愛着を持って利用されていることに感銘しました。



明治学院記念館にある十角形の小チャペル



都内最古の宣教師館・インブリー館の内部

4◆明治学院インブリー館（1889年、建物外部・内部）

評価:4.00 内訳:AAAAABBBBB

評価A●明治22年築の洋風木造住宅が、震災を乗り越えて残っているのは奇跡的。総2階で、屋根は寄棟に各面に破風を設け、どの方向から見てもバランスが良い。玄関の上のバルコニーの欄干に中国的な文様を用いるなど意匠も凝っている。重要文化財に指定されていることにも納得。内部もきれいに改修されて同窓会館として利用されたのはすばらしい。

評価A●単純な幾何学的デザインではあるが、窓のデザインがかわいらしく、住宅として作られたことから、ほかと比べて親近感がある建物に見えた。

評価A●木造の洋館としては貴重な建物ですね。窓のひさしがアクセントになっていて素敵です。

評価A●外観はスタイリッシュだが、内部の木の質感はとても心地良かった。

評価A●とても素敵な建物。3棟まとまって建っているのがとてもいい。内部をうまく活用してもらいたいもの。

評価B●瓦葺屋根を銅板葺きしたこと以外は創建当時に姿に修復しているが、平常時の活用がされていない。

評価B●歴史的には重要な建築物だが、あまり有効に活用されていないようにみえた。

評価B●都内最古の宣教師館の建築物として重要文化財の指定を受けているとの事。重文指定の建築としての説明を更に充実させてもいいのでは？

5◆旧国立公衆衛生院（1938年、港区郷土歴史館・ゆかしの杜）

評価:4.60 内訳:AAAAAAABB

評価A●旧国立公衆衛生院が港区の土地と交換され、区立歴史資料館や子育て支援施設などの港区の複合施設として改修、活用されている点は素晴らしい事例。内田祥三のネオゴシック調の建物がよみがえっている。

評価A●使用されていなかった頃は、私の眼には大きくてちょっと怖くて不気味な、物語に出てくる建物のように映っていた。それがすっかり再生され、このような形で利用されていることに感動した。中央ホールも良いが、旧講堂がとても見応えがあった。法令上使用できないことが残念。

評価A●フロアやエリア毎に保存のレベルを変えて保全しているので、色々な意味でメリハリがあり、いい保全の仕方ではないか。旧講堂が使用できないのは残念だが、素敵な空間だと思う。コミュニケーションルームの机に施設の一部（水路のふた？）を再利用するなど、小さな箇所に工夫が凝らされているのに好感を持った。

評価A●荘厳な感じがある外観、中央ホールの円形の吹き抜け、大講堂が素敵でした。展示も充実、もっとゆっくり見たかった。

評価A●時間がなくじっくり見られなかったが、この建物が再生・活用されていることはとても有意義。

評価A●保存され建物内部が一般公開されてうれしい限りです。

評価A●港区の文化財保存に対する並々ならぬ決意を感じる施設。

評価A●壊されなくてとにかく良かった。保存されるために敷地交換など尽力されたことに感激。講堂も魅力的。活用のニーズに合わせたものになっている。委託の説明の方も能力が高く、ガイドもしてくれレベルが高いと思った。今後の維持費の覚悟も素晴らしい。この場に出入りする子どもたちの将来が楽しみになる建物。建物に力があるので結婚式などに利用されると良いと思った。建物をロゴにしたデザイングッズもおしゃれである。八芳園のカフェが安すぎ、外部に面した良い場所にカフェを設置し、それなりの料金をとった方がよい。公共の場合、市民利用として安く設定していることはわかるが、カフェとしての華がない。デザイングッズまで制作したので、カフェは観光的資源として活用しお金を生み出し、市民向けカフェは別につくる。建物のデザインが経済的に生かされていない。近隣の緑地と積極的につながるような工夫がほしい。

評価B●壊されなかったのは喜ばしいし、内部見学自由なのも有難いが、再生活用の方法にやや違和感があった。

評価B●東京大学の校舎とデザインがよく似ているのでびっくりしたが、設計者が同じとのこと納得。帝国主義を表現した威圧的なデザインで、個人的には好みではない。区民も愛着のある建物なのかどうか疑問。きれいに改修されて港区の施設として利用されているのはすばらしい。カフェやミュージアムショップなどいい雰囲気だが、外部からうかがい知ることができないのは残念。



旧国立公衆衛生院を保存活用した港区郷土歴史館



ゆかしの杜・港区郷土歴史館の円形の吹き抜け

6◆今回訪ね歩いた中で最も印象に残ったこと

明治学院大学の職員の皆さんの丁寧な案内・説明★礼拝堂や記念館、図書室などで大変いい印象を受けました。

明治学院の教育理念と建築空間★あるべき教育環境を実現する意思と情熱を建物のあり方にも強く感じました。

明治学院記念館に展示されていた学院の変遷の模型★空間の変遷が具体的にイメージでき、非常に面白かった。

明治学院大学の図書館内の内井昭蔵デザインの机と灯り★とても素敵だった。販売しているなら購入したい。

明治学院礼拝堂★キリスト教主義の学び舎にとってチャペルは特別なもの、それが伝わってきた。

明治学院礼拝堂や旧国立公衆衛生院★歴史的建造物が大学教育や区の公共施設として良く活用されている。

旧国立公衆衛生院★保存されたこと、内部が公開されていること。

旧国立公衆衛生院★これだけ大きなものが残され活用されたこと。保存の状況をすべてそのまま保存するのではなく、3段階に分けていることが現代とのバランスとしてとても良い方法と思った。

旧国立公衆衛生院の活用方法★隣接する東大医科学研究所付属病院の建物とセットで今後も残される事を願います。

現時点で港区の多くの施設が入り、活用の方法が公共的かつ実用的で望ましい姿。今後経年とともに維持費用も嵩んでいくため保存意義の周知なども必要になってくる。運営する港区の継続的な取組みに期待したい。

旧国立公衆衛生院の幻の情景★以前に teku-teku で訪れた時、廃墟のような旧国立公衆衛生院を見た後に隣に建つ東京大学医科学研究所を見た時、なぜさっき見た建物にまた戻ってしまったのだろう、と不思議な感覚になったことを思い出しました。設計者が同じで建物の形態が似ていれば、同じ建物に見えて当然ですね。



学園祭でにぎわう明治学院大学・ヴォーリズ広場



活用が待たれる旧国立公衆衛生院の大講堂

7■歴史的建物は都市の景観形成や文化的価値の上で重要な存在だが、保存には費用を要し活用には現代の機能に適合しにくいなど制約がある。今回の事例を参考に、歴史的建物の保存・活用に対する考えをお聞かせください。

- 歴史的建物は、所有者に残すメリットが無ければいずれは建替えられてしまうが、学校はその歴史や伝統が価値として評価されるので保存されやすいのではないかな。景観や文化の価値を経済的にも評価できる仕組みが確立されれば、歴史的建物を残しやすくなるのではないかな。
- 歴史的建築物は機能的には効率が悪く費用的には高コスト。残すためには保存の意義などを十分に説明し理解され、地域と共に育てていく観点が重要と考えます。その意味でゆかしの杜はうまくいっているように思えました。
- 歴史的建物は、旧国立公衆衛生院の例のように、保全を優先するゾーンと現在の求められる機能を優先し改修するゾーンとの分けけしながら活用することが良いように思う。
- 再生してからの維持費もとてもかかるので、学校施設や公共施設のような、大勢に人が利用できることで関心を持ってもらうことが大事だと思う。
- 今回のような行政・学校法人による公共施設・教育施設への転用であれば、歴史的建物としてだけでなく、「現代の機能に適合しにくい」こと自体も文化的価値として、地域住民や学生に継承できると思うし、すべきことと考える。また、費用についても、そういった面から、行政・学校法人が比較的理想的と考える。
- 旧国立公衆衛生院は、財政的に余裕がある自治体だからうまく保存ができたのかもしれませんが。雰囲気がある歴史的建物で活用法として一番良いのは、カフェ・喫茶です。安易で商業的だという意見もあるかもしれませんが、素敵な建物の中でコーヒー・お茶いただくのは、至福のひとつです。
- 残る施設で活用できる機能と使用目的のマッチング。必要な維持費を建物活用自体で生み出すこと。維持費を捻出できるような事業計画（お金を生み出す構造）が必要。利用及び事業計画のコンペをしたらよいと思う。継続されないと保存した意味がないのではないかな。旧国立衛生院は、いろいろな大学のサテライトキャンパスとして利用(シェア)されたらよかったと思う。(今後学生は減るかもしれませんが、社会人大学的に)
- 明治学院キャンパスでは、歴史的建物の保存だけでなく、新しい建物も優れた設計にしており、建築空間というものの文化的価値と教育的効用に対する高い意識があると感じた。一方で、旧国立公衆衛生院は、港区都心部の旧鞆絵小学校（大手町の気象庁の移転用地）との建物付き土地交換であり、改修での施設整備が可能となった。後者では建物内部の自由見学可能、シンボルマーク作成など、建築の歴史性を活かし広める試みが注目される。

- 明治学院大学の歴史的建築物は、創立当初の理念を引き継ぐ象徴であるとともに、大学のイメージ戦略にも貢献しており、大変幸せな例だと思います。近年は、商業・業務系の施設でも、歴史的建築物の一部を保存・活用しながら建替える事例も増えてきており、保存のメリットも認識されてきていますが、民間開発の場合、あくまで建替え部分を高層化するなど事業的に採算が取れないと難しいと思います。一方、公共建築物の場合、保存は比較的容易ですが、活用をうまくやらないと折角の貴重な建築物がもったいないということになりかねません。先日、新宿区河田町の小笠原邸を見てきましたが、小笠原家から都に寄付されたスパニッシュ様式の邸宅を、都が民間事業者者にスペイン料理のレストランとして貸し出していました。内装改修や調度品の調達はレストラン側で当時の意匠を再現しながら行ったとのことで、このような方法でいい事業者を選定することが重要だと思います。
- 大学等で所有している建物などは保存活用が進んでいますが、集合住宅の保存活用はなかなか進まないですね。

8■（オプション企画）南町田グランベリーパーク・まちのがっこう祭

- 評価A●グランベリーパークはオープン前で人が少なく、外側からではあったが、ゆっくり落ち着いて楽しめた。オープン後の賑わいや鶴間公園との関係が気になる場所である。「まちのがっこう祭」は子供たちのマラソン大会と同時開催だったこともあり、活気がある催しだった。初ジョージア料理がおいしかった。鶴間公園は雑木林的な斜面の土がむき出しでグランドカバーがなかったため、台風や大雨による影響が気になった。
- 評価A●大屋根に覆われた駅のホームから大階段を上ると改札口から始まるショッピングモール、そして隣接の公園との一体化は、なかなか面白い空間構成。プレ企画のがっこう祭も人々が賑やかに楽しんでいました。
- 評価A●新しい居住者、従来の居住者をつなぐいい企画だと思いました。



オープン間近い南町田グランベリーパーク



鶴間公園でのプレイベント・まちのがっこう祭

9■今回の企画に対する感想など

- 明治学院大学の歴史的建築物の見学とパイプオルガンのコンサート、さらに学園祭の独特の賑わいも含めて、なかなか面白い企画だったと思います。(K/T)
 - 今回は旧国立公衆衛生院の港区複合施設としての活用を知ることができたことが収穫でした。もちろん、明治学院礼拝堂の学生さんのパイプオルガンも素晴らしかったです。感謝です。(Fs/M)
 - お天気も良く、内井昭蔵、ヴォーリズ、旧国立公衆衛生院の素敵な建物を巡って充実した一日でした。庭園美術館の後に旧国立公衆衛生院のカフェに行く、という新たなルートができてうれしいです。(N/R)
 - 何年ぶりかわからないくらい久しぶりに学園祭に行きました。このような企画をありがとうございます。(Ha/M)
 - 久しぶりに参加いたしました。お天気にも恵まれ、とても楽しかったです。ありがとうございました。(W/M)
 - 久々に参加し楽しかったです。ありがとうございました。(H/H)
 - ご同行させて頂きありがとうございました。(Fj/M)
 - 歴史的建物の保存、活用事例は楽しいですね。来年は赤羽台団地のスターハウス見に行きたいです。(I/Y)
 - Oさんには、父兄として、キャンパスの隠れた場所までご案内いただきありがとうございました。(M/H)
- コーディネーターより◆
- 今回は明治学院の建物公開に伴うミニ企画でしたが、3棟の公開、コンサート、そして職員の方々の説明、さらには学園祭のキャンパス巡り、図書館見学と盛りだくさんになりました。また、かつて訪問した時には廃墟のようだった旧国立公衆衛生院は、保存再生されて見違えるように蘇っていました。建物と用途の良き関係を実感して幸せな気持ちになりましたね。(O/R)



